



オンライン
で？

自宅で？

通学して？



対面授業で？

オンデマンド
で？



職場で？

学び方を自由に 選べる大学院

Graduate School,
Hyogo University of Teacher Education
Flexible Schedule Classes

兵庫教育大学大学院
フレックスクラス

私のスタイルで…

1 働きながら学べるフレックスクラス

フレックスクラスでは、コースの特性にもよりますが、オンラインを活用してほぼ通学しなくても修了できるコースを多く開設しています。

- ▶ オンライン同期型(夜間授業をリアルタイム・双方向で)
- ▶ オンデマンド型(好きな時間にオンライン教材を視聴)
- ▶ ハイフレックス型(神戸キャンパスでの対面授業またはオンライン同期型を選択できる)



2 自分に合った方法で学べる



私は基本、通学せずにオンラインで受講し、研究指導等は指導教員と相談のうえ、土日や夏期休業中などに神戸キャンパスで対面で受講しています。



私は、週に1日だけ神戸キャンパスに通学する以外は、オンラインで受講しています。

このように、大学院の教員と相談しながら、自宅や職場などから自分に合った方法・ペースで学べます。

オンラインと対面授業、また両方を効果的に活用します。

また、オンデマンドの授業についてもTeamsやLMSを活用し、教員に気軽に質問でき、ディスカッションなど学生同士も交流できるようにしています。

長期履修学生制度を使って3年間かけてゆったりと学ぶことも可能です。



3 フレックスクラス4つのメリット

1

学校現場を離れずに学べる
日本全国どこからでもOK

一部のコースは通学が必要です。
コース別一覧を参照してください。

2

指導教員等と相談しながら、
柔軟な指導が受けられる

オンラインに加え、神戸キャンパスでの対面
授業も選択できるハイフレックス方式を導入

3

教職を続ける基盤となる理論や
実践、研究方法を身に付ける
ことができる

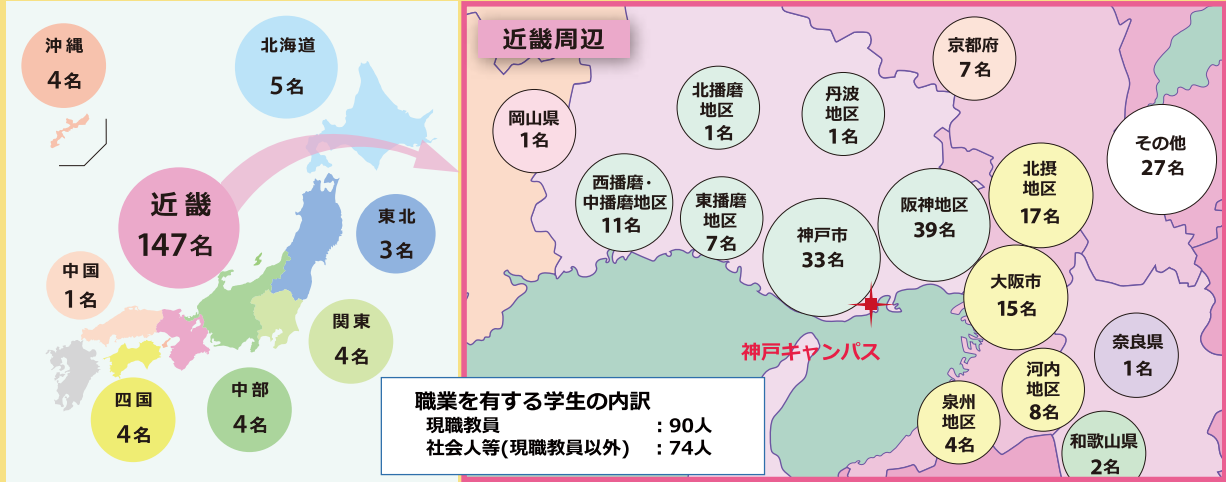
4

さまざまな課題を持ち、研究を
すすめる仲間や大学教員と意見
を交わしながら、学びをより深
めていくことができる

学びを深める

4 フレックスクラスで学ぶ学生

*令和4年5月1日現在の学生の居住地。夜間クラスの学生を含みます。



5 授業料／長期履修学生制度

単位:円

	入学料	授業料 1年次	授業料 2年次	授業料 3年次	計
2年間で修了する場合	282,000	535,800	535,800	-	1,353,600
3年間で修了する場合	282,000	357,200	357,200	357,200	1,353,600

※ 長期履修学生制度の適用には条件があります。

長期履修学生制度とは

職業等を有する方が、2年間のカリキュラムを3年間かけて、ゆったり学べる制度です。
 授業料は長期履修学生制度を活用しても2年で修了する方と同じです。

6 フレックスクラスの授業

オンライン同期型授業・対面授業(神戸キャンパス)の授業時間

平日(月曜～金曜)

オンライン同期型・対面授業の授業時間	
第6時限	18:30 - 20:00
第7時限	20:10 - 21:40

神戸キャンパスの利用時間	
平日	9:00 - 22:00
土日祝	9:00 - 18:00

院生研究室・図書室等自由に利用できます。
 ※大学の休業日等は除きます。

オンライン授業に必要な機器、システム等

入学者が用意するもの

- PCまたはタブレット(キーボード付)
- Webカメラ(PCやタブレット付属のものでOK)
- Wi-Fi環境

大学が用意しているもの

- WordやExcel、PowerPoint、Teams (Microsoft365)
- 学ぶためのシステム(LMS)

* オンライン授業は、基本的にTeamsまたはZoomを使います。
 授業の連絡は、大学で導入しているLMS(manaba)を使います。



ソフトウェアの使い方に不安のある方も安心

- LMS等のマニュアルを整備(Webでいつでも参照できます)
- オリエンテーションでの説明や神戸キャンパス事務室などでも対応

コース	オンラインのみでの 修了の可否/ 週あたりの通学状況	課題研究や研究指導、 ゼミの実施方法	フレックスクラスの特徴・特性
人間発達教育専攻			
教育コミュニケーション コース	3 週1回程度	主として通学 〔オンラインを併用〕 〔することも〕	人と人との対話的な関係を大切にしながら、通学とオンライン双方のよさを生かしつつ、教育や人間形成の本質を探究します。
幼年教育・発達支援コース	1 ほぼ通学不要	オンライン	全ての専門科目をオンラインで実施しています。対面授業を行うことがありますが、オンラインでも参加可能です。 仕事の都合で正規の授業時間に間に合わないときに、授業動画の視聴による受講が可能な科目もあります。課題研究や研究指導は必要に応じて対面で実施し、時間が調整できれば昼間クラスと合同で行うことがあります。
学校心理・学校健康教育・ 発達支援コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔進度により通学も〕 〔あり〕	<ul style="list-style-type: none"> ・授業やゼミはオンラインを中心に実施します。 ・心理検査やデータ分析等については、通学による授業でもサポートします。 ・「心理教育アセスメント」：通学による授業の方が多いです。 ・「心理統計研究法」、「心理統計研究法演習」：2科目合わせて30回のうち、対面は6回あります。 ・「発達アセスメントと支援」：15回のうち対面は5回で集中講義で実施します。 ・心理学系の資格取得を希望する場合は、通学による授業を履修する必要があります。 ・1年間に3回開催する修士論文中間発表会は、対面とオンラインを併用します。
臨床心理学コース <small>*令和6年4月から</small>	1 通学不要	オンライン	教育現場ならびに対人援助現場の課題解決型のクラスです。ICTやオンラインを活用し、自宅にいながらすべての授業を受講できるクラスです。通学の必要はありません。オンデマンドとオンライン（同期型）の併用により講義等を行います。オンライン授業（同期型）は、主に土曜日に開講しますので、勤務しながら学ぶことができます。 (臨床心理士・公認心理師試験受験資格には対応していません)
芸術表現系教育コース (音楽)	2 週1～2回程度	主として通学 〔オンラインを併用す〕 〔ることも〕	実技や演習を伴う科目が多く、演奏による音楽表現を活かした対話的な探究が求められるため、週に1～2回程度の通学による対面授業や、休業期間中の集中講義を実施します。
芸術表現系教育コース (美術)	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔希望や必要等に〕 〔応じて通学でも実施〕	オンラインでの受講が可能ですが、希望や必要等に応じて休業期間中に学外での演習や加東キャンパスでの対面授業を実施することがあります。
生活・健康・情報系教育 コース	2 ほぼ通学不要（研 究テーマによる） 家庭分野・ 保健体育分野 ほぼ通学不要	主としてオンライン	<p>技術・情報分野 電気電子、情報科学、教育工学、データサイエンス、技術・情報教育法などの専門分野があります。このうち、情報科学、教育工学、データサイエンスは、研究テーマを工夫することでオンラインによる修了が可能です。（研究テーマによっては、対面による実験が必要な場合があります。）技術・情報教育法は調査や実践等のフィールドを学生自身が有している場合にはオンラインでの修了が可能です。ただし、電気電子は実験実習を要するためオンラインのみでの修了はできません。また、実験実習を伴う通学による集中講義が一部あります。</p> <p>家庭分野 集中講義による科目の中には、通学により授業を行うものもあります。</p>

オンラインのみで修了可能なコースについても、「オンラインでの同時双方向授業（同期型）と通学による対面授業を選択できるハイフレックス科目」を設定するなど、対面授業を効果的に実施しています。

凡例「オンラインのみでの修了の可否」

1…ほぼ可能 2…選択した授業により通学が必要 3…通学が必要

コース	オンラインのみでの修了の可否/ 週あたりの通学状況	課題研究や研究指導、ゼミの実施方法	フレックスクラスの特徴・特性
特別支援教育専攻			
障害科学コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔一部対面の演習等あり〕	全国の現職教員が働きながら学修できます。特別支援学校（3領域）の1種免許状も取得可能です。 なお、昼間クラスとは開講科目や修了要件が異なります。
教育実践高度化専攻			
学校経営コース	1 通学不要	主としてオンライン	専門科目は、オンライン（録画）を中心に授業を進めますが、昼間クラスの学生との合同授業回も設定し、対面またはオンライン（同時双方向）を選択できるハイフレックス方式で実施します。 課題研究は、全ての授業回を昼間クラスの学生との合同授業として、対面またはオンライン（同時双方向）を選択できるハイフレックス方式で実施します。 ゼミ等の研究指導は、オンライン（同時双方向）を中心に実施します。 そのため、修了要件を満たすうえで通学が必要とはなりません。昼間クラスの学生との合同授業に際して、対面参加することも可能であり、修学と仕事の両立を図りながら、フレックスクラスの学生自身が主体的に選択することが可能です。
教育方法・生徒指導 マネジメントコース	1 通学不要	主としてオンライン	原則、非同期型、同期型オンラインによる授業形態を取ります。ただし、教育相談に関する専門科目を選択して履修する場合には、一部を対面で実施するため、その授業回のみ通学が必要になります。研究指導（ゼミ）は、学生の通学範囲、希望等によりオンラインか通学による授業かを選択できます。
言語系教科マネジメント コース	1 通学不要	主としてオンライン	〈ことばの教育〉に関わる諸問題を考えます。さらに、フレックスクラスの特徴・特性を活かして、様々な学習システム、学習形態、言語使用の可能性を見出し、未来の〈ことばの教育〉について考えます。
社会系教科マネジメント コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン	通学による対面指導を取り入れることも可能です。
理数系教科マネジメント コース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン	実験・実習等を必要とする場合は、夏期休業期間中などに通学による対面授業を実施することがあります。
グローバル化推進教育 リーダーコース	1 通学不要	主としてオンライン	講義・演習はオンラインでの実施を基本としますが、個別ゼミは通学での実施も可能です。
教育政策リーダーコース	1 ほぼ通学不要	主としてオンライン 〔休日や夜間における指導が中心〕	教員が学生の元に赴き行う「出張講義」（学生の要望等を踏まえた時期・場所で受講が可能です）、教員の授業を収録したネット配信等でフレックスに学ぶことができる「VOD方式講義」、「Web会議システムによる研究指導」、学生が一同に会する「集中演習」や「フィールドワーク」の組み合わせを基本としています。（演習や実習等においては、神戸や各地での対面授業等も一部あります。）
授業実践課題探究コース	2 ほぼ通学不要	主としてオンライン	授業実践課題探究コースの専門科目「教育実践リフレクション」は、基本的には修学指導教員と学生がオンラインのゼミ形式で実施しますが、3か月に1度、教員と学生全員による「対面による実践の語り合い（合同ゼミ）」を実施します。

兵庫教育大学大学院でめざすもの

- 1 すべての学びのベースとなる「論理的思考力」や「批判的思考力」を鍛える
- 2 ICT活用能力や短期的なスキルとしての教育実践の獲得
- 3 自身の成長を見据え、長期的な視点に立った教育理論・方法の獲得と継続的な学び方の修得
- 4 院生同士、大学教員との課題の共有、意見交換などを通して多様な知見に触れることで、自身の視野やコミュニティーを広げ今後の教職生活の基盤を形成

働きながら学ぶ大学院 これまで▶これから

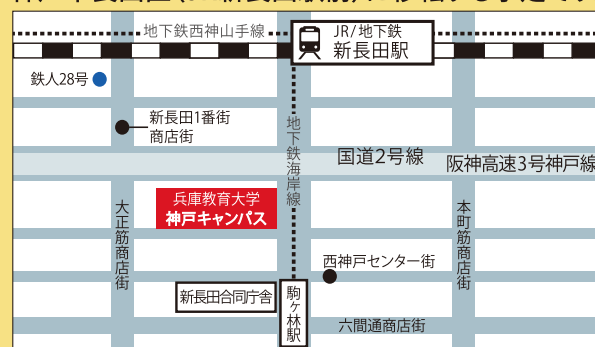
兵庫教育大学は、平成12年4月に働きながら主に夜間に学べる大学院神戸サテライトを神戸サンボーホールに開設しました。その後、元町、神戸ハーバーランドとキャンパスは移りましたが、23年間で1,000人を超える修了生を輩出しています。近畿を中心に教員など職を持つ方々が夜間クラス、フレックス

クラスで学び、豊かな人間性と確かな実践力を持った教員として学校現場などで、また学校教育分野の心理専門職として活躍しています。なかには大学の教員になった方もいます。令和6年度からは、オンラインを活用し全国どこからでも働きながら学べるフレックスクラスに一本化して各コースに設置し、多様な学びのニーズに応えていきます。

神戸キャンパスへのアクセス



神戸キャンパスは、令和7年度入学生から神戸市長田区(JR新長田駅前)に移転する予定です。



各コース紹介



入試情報



大学院説明会



キャンパス移転情報



兵庫教育大学



神戸キャンパス

兵庫教育大学大学院入学相談室

TEL 0795-44-2359

E-mail guidance-info@ml.hyogo-u.ac.jp

2024.4.1 発行